

鳥取県歯科医師会  
令和3年度事業報告書

実施事業等会計

【継続事業1】 鳥取県口腔総合保健センター運営事業

(1) 障がい者歯科診療事業

会員協力医の輪番で、毎週木曜日の午後に診療を行った。また、鳥取県から委託を受け、障がい者等口腔機能向上推進事業として、グループホーム等（中部2施設、西部1施設）へ歯科医師及び歯科衛生士を派遣して口腔検診を実施した。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
診療日数	3	4	4	4	3	4
受診者数	41	58	64	65	59	60

※ 受診者数はのべ人数

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	月平均
診療日数	3	3	4	3	3	5	43	3.6
受診者数	49	55	61	37	34	74	657	54.8

(2) 口腔疾患予防処置及び歯科相談事業

会員の輪番制で、毎週火曜日の午後に、フッ化物塗布、初期う蝕（むし歯）の処置等の歯科疾患予防処置・保健指導及び各種相談の受付・助言を行った。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
診療日数	3	3	5	3	4	3
受診者数	0	0	5	4	3	1

※ 受診者数はのべ人数

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	月平均
診療日数	4	3	3	2	2	4	39	3.3
受診者数	2	1	4	3	3	4	30	2.5

(3) 歯科健康診断事業

共済組合などから委託を受け、本会が健康診断実施契約を締結、会員に協力を依頼し、診断票による診査と結果に基づく保健指導を行った。

区 分	受託件数	受診者数
共済組合	1	77
事業所健保組合他	6	386
島根健保連	2	医院請求

**【継続事業2】 歯科医学・医術の振興、歯科保健の推進及び普及啓発・コンクール並びに調査研究、適切な歯科医療管理の指導、歯科医療情報の提供を行い、公衆衛生の普及向上に資する事業**

**(1) 歯科医学・医術振興事業**

**① 鳥取県歯科医学会・鳥取県臨床歯科医学会・鳥取県歯科法医学会**

著名な臨床医を講師に迎え、時代に即した歯科医学をテーマに講義を受ける鳥取県歯科医学会、会員による症例報告・研究発表、意見交換を行う鳥取県臨床歯科医学会（10:00～10:45 演題：3題）を開催した。また、全国共通がん医科歯科連携講習講義DVD（第二版）によるオンライン講習会を開催した。

**《 鳥取県歯科医学会 》**

日 時	令和3年12月12日（日）11:00～13:00
開催方法	オンライン+2会場
演 題	総（すべて）義歯における「臨床のお宝箱」 ～クラウンから局部、全部床義歯まで～
講 師	医療法人慈愛恵真会あらかい歯科医院 院長 松本勝利氏（福島県南会津郡 開業）
参加者数	歯科医師57名 歯科衛生士他5名 合計62名（オンライン37名 会場25名）

**《 全国共通がん医科歯科連携講習会 》**

日 時	令和4年2月27日（日）10:00～12:40
開催方法	オンライン+1会場
内 容	動画7本 2時間35分
参加者数	受講者52名 修了者47名 連携登録者42名

**② 災害対策事業**

発災時に対応できる体制の構築をはじめ、協定先との関係確認、常設委員会の設置検討、各種課題の対応等を行う「災害歯科保健医療対策会議」の第1回会合を令和4年3月17日に開催した。

**(2) 歯科保健活動助成事業**

県内の歯科保健推進のため、鳥取県歯科衛生士会及び鳥取県歯科技工士会に活動助成金としてそれぞれ20万円を交付した。

**(3) 歯科保健推進事業**

**① 県民歯科保健公開講座**

より多くの県民の方に正しい歯科保健知識を普及するため、これまで制作した口腔衛生について分かりやすく説明する5分間のテレビ番組5本をインターネットで常時公開した。

テ ー マ	ライフステージ別の歯科保健講座
-------	-----------------

番組タイトル	マイナス1歳から始める歯科保健講座 高校生からの歯科保健講座 家族のための歯っぴー講座 40歳から65歳まで（壮中年期）の歯科保健講座 高齢期の歯科保健講座
--------	--

## ② 鳥取県口腔衛生関係者研修会

県内の保育士、養護教諭等を対象として、子どもの歯科保健指導の充実を図ることを目的に口腔衛生に関する知識を習得する研修会を鳥取県及び母子保健推進会議と共同で開催した。

日時	令和3年12月9日（木）15:00～17:30
開催方法	オンライン
演題	こどもの口腔機能育成について多角的にアプローチしよう ～早期発見と正しい早期介入の重要性～
講師	医療法人社団守徳会とのぞ小児歯科 院長 外木徳子氏（千葉県 開業）
参加者数	80名

## ③ 在宅医療推進研修会

今年度は開催していない。

## ④ 学校歯科保健推進事業

今年度は実施していない。

## ⑤ 鳥取県からの受託事業

### 〔むし歯予防フッ化物洗口事業〕

幼児期から学齢期のむし歯を予防するため、県内の施設等を対象として、フッ化物洗口法（うがい）を実施できる体制を整備した。今年度は保育園1園、小学校10校（うち8校は試行）で実施するとともに、各自治体への説明やブック洗口推進レターの発行などの普及啓発を行った。

### 〔高齢者施設における口腔機能向上推進事業〕

歯科を受診する機会の少ない高齢者施設の入所者に対して口腔健康診断（東部1施設、中部1施設、西部3施設）及び健診後フォローを実施した。

### 〔歯科医師認知症対応力向上研修事業〕

歯科医師等による口腔機能の管理を通じて、認知症の疑いのある人に早期に気づき、認知症の人の状況に応じた口腔機能の管理を適切に行うための研修会を開催した。

日時	令和4年2月23日（水・祝日）13:00～16:00
開催方法	オンライン+2会場
演題	これからの歯科・認知症連携について～コロナ禍を超えて～
講師	松本診療所（ものわずれクリニック）松本一生氏 鳥取県歯科医師会地域歯科医療連携室長 足立 融氏

参加者数	歯科医師 72名 歯科衛生士 13名 合計 85名 (オンライン 65名 会場 20名)
------	--

〔県民歯科疾患実態調査事業〕

県民の歯科保健の状態を把握し、今後の歯科保健対策の推進に必要な基礎資料を得るため、県内 20 歳以上の者を対象に歯科健診及びアンケート調査を実施することとしていたが、開始まもなく中止となり、データ集計・分析ソフトの改修を行うにとどまった。(来年度実施予定)

⑥ 地域歯科医療連携室

〔地域医療介護総合確保基金事業〕(鳥取県補助事業)

地域包括支援センター等の他機関と連携しながら、在宅歯科医療希望者への歯科診療所の照会、在宅歯科医療等に関する相談、在宅歯科医療を実施しようとする医療機関に機器の貸出を行う地域歯科医療連携室(本会及び地区歯科医師会)を運営した。

前年度に引き続き、連携室を広く周知するためのポスター・リーフレットを作成し、関係機関に配布するとともに、全国レベルの学会参加、各種講習会(口腔ケア関連、連携室関係職種レベルアップ研修会等)の開催、行政・多職種からの要望事項の協議や課題の検討を行った。

〔訪問歯科衛生士養成支援事業〕(鳥取県補助事業)

通院が困難な在宅患者を訪問して口腔ケア指導等を行う訪問歯科衛生士を養成するため、歯科医院や介護施設等に勤務する歯科衛生士を対象に在宅歯科医療に関する研修会を開催した。

日時	令和 4 年 1 月 23 日 (日) 9:30~13:00
開催方法	オンライン+1会場
演題	症状の背景を考えよう!認知症の人の食と口腔の支援
講師	東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健チーム 枝広あや子氏
参加者数	歯科医師 23名 歯科衛生士 35名 合計 58名 (オンライン 51名 会場 7名)

〔医療介護連携のための多職種連携等研修事業〕(鳥取県補助事業)

今年度は実施していない。

〔鳥取県後期高齢者医療歯科健診事業・健口機能向上支援モデル事業〕

鳥取県後期高齢者医療広域連合から業務委託を受け、後期高齢者医療の被保険者を対象に歯科健康診査(問診・咀嚼機能評価・舌機能評価・嚥下機能評価・口腔内診査)を行った。

《 鳥取県後期高齢者医療歯科健診事業 》

後期高齢者の口腔機能低下や誤嚥性肺炎等の疾病を予防し、健康寿命の延伸を図るため、歯・歯肉、口腔清掃や口腔機能状態等をチェックする歯科健康診査を実施した。

受診期間	令和 3 年 6 月 1 日~令和 4 年 1 月 31 日
協力医院	東部 67 医院 中部 30 医院 西部 67 医院 合計 164 医院
受診者数	東部 339 名 中部 155 名 西部 1,132 名 合計 1,626 名

## 《 鳥取県後期高齢者医療健口機能向上支援モデル事業 》

市町村及び山陰言語聴覚士協会と連携し、市町村が指定する会場で集団歯科健康診査を行い、口腔健康に関する啓発や健診結果のフォローアップ教室等を実施した。

実施期間	令和3年6月1日～令和4年1月31日
実施状況	米子市7回59名 境港市1回13名 湯梨浜町3回20名 合計11回92名

### (4) 歯科保健普及啓発事業

#### ① 歯と口の健康週間相談事業（鳥取県からの受託事業）

歯と口の健康週間（6月4日から10日までの7日間）の日曜日に東・中・西部の3か所で歯に関する各種相談や歯科健康診査などを行うイベントは開催しなかったが、新聞掲載による普及啓発を行った。

### (5) 歯科保健コンクール事業

#### ① よい歯のコンクール事業

今年度は県大会中止、親と子のよい歯のコンクールは中部地区のみ審査実施し、最優秀親子を県歯科医師会長表彰とした。

#### ② 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール、歯・口の健康啓発標語コンクール事業

学童期からの歯科保健意識の定着と、より一層の公衆衛生の機運醸成を図るため、県内の学校から公募し、公正な審査を実施、被表彰作品を決定・表彰した。その後、作品は、東・中・西部地区ごとに公共施設等に展示した。

なお、最優秀作品は、日本学校歯科医会・日本歯科医師会の主催する全国コンクールに応募した。

### (6) 歯科医療管理事業

#### ① 医療管理講演会

会員及び医院スタッフ等を受講対象として、医療安全対策、危機管理対策、法的知識、接遇マナーなど受診しやすい診療所を目指すため、診療所運営全般に関する講演会を開催した。

また、施設基準届出に対応した医療安全対策・院内感染防止対策に関する研修会を令和3年11月16日（火）19：30～21：00に本会小田浩一常務理事の講師により開催した。

日 時	令和4年1月30日（日）9：30～12：30
開催方法	オンライン+2会場
演 題	サイコ・デンティストリー（精神歯科学） －精神疾患で生じる痛みと、口腔内特発性疼痛に併存しやすい精神疾患－
講 師	東北医科薬科大学病院 教授（精神科）山田和男氏
参加者数	会員67名（オンライン53名 県歯3名 西部11名）

## ② 保険診療指導

診療所を受診される方々に適正な保険診療による安心・安全な歯科医療を提供するため、制度改正や届出様式、取扱要領等の最新情報を会員へ周知した。

## ③ 歯科医療会員調査事業

かかりつけ歯科医機能を充実させ、よりよい診療所を目指すため会員の診療形態を調査した。

## (7) 歯科医療情報提供事業

県内の会員歯科医院マップ、歯と口の健康、休日歯科診療案内、イベント予定など、総合的な歯科医療情報を提供するホームページの運営を行った。併せて、本会の活動を内外に周知する広報誌「鳥歯会報」を年6回発行し、会員及び関係機関に配布した。

## 【継続事業3】 歯科衛生士養成所運営事業（鳥取県からの受託事業）

鳥取県から、歯科衛生士としての必要な知識及び技能を習得させる3年制専門学校（鳥取県立歯科衛生専門学校／1年生32名、2年生22名、3年生21名）の運営委託を受け、本会の会館2階に併設されている県の校舎で、施設設備の保全及び生徒の授業に関する事務等を行った。

## 【継続事業4】 歯科技工士養成所運営助成事業

県内における歯科技工分野の人材育成を支援するため、県内に唯一設置されている鳥取歯科技工専門学校に対して、運営費の助成（350万円）を行った。

---

## その他会計

### 【その他の主要な事業以外の事業】

#### (1) 会員の福利厚生事業

##### ① 会員表彰披露・祝賀会

今年度は開催していない。

##### ② 会員フェスティバル

今年度は開催していない。

##### ③ 同好会助成事業

会員の同好会活動の活性化を図るため、ゴルフ同好会に8万円の経費の助成を行った。

④ 従業員永年勤続表彰

会員診療所勤務の従業員を対象に、勤続20年41名、30年15名を表彰した。

⑤ 福祉厚生制度要覧の改訂

本会で取り扱いしている各種共済、年金、保険等について、最新の内容を会員へ提供した。

(2) 中国・四国地区歯科医師会連合会関連事業

今年度は中国地域歯科医師会連合会の当番県になっており、集合型以外の方法で協議会を開催した。

《 令和3年度社会保険担当者連絡協議会 》

日 時	令和3年7月17日(土) 14:30~
開催方法	オンライン

《 令和3年度中国地区歯科衛生士養成機関連絡協議会 》

書面開催となり、冊子に取りまとめて各養成機関へ配布した。

《 第45回中国地域口腔公衆衛生協議会 》

書面開催となり、冊子に取りまとめて関係各所へ配布した。

《 中国地域歯科医師会 親睦野球大会 》

今年度は開催していない。

(3) 歯科衛生士就学資金給付事業

地域歯科医療を担う歯科衛生士の確保を目的として、鳥取県立歯科衛生専門学校において歯科に関する専門知識を習得しようとする者で、県内に就業を希望する者に対して就学資金を給付した。

区 分	元年度	2年度	3年度
採用者数	0	1	1

---

法 人 会 計

【法人の管理業務】

総会・理事会の開催、資産・負債の管理、事務局の運営など、法人の事業の管理を行った。